

令和 8 年度 技術・家庭科 シラバス (家庭科)

3年間のねらい 学習目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し、創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家庭・家族の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費生活や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

観点別の目標

観点	教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力	「家庭科」の目標
知識及び技能	○何を理解しているか ○何ができるか	○生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けることができる。
思考力・判断力・表現力	○理解していること、できることをどう使うか	○家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決方法を検討し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	○どのように家族や地域の人々と関わり、よりよい生活を送るか	○自分と家族、家庭生活と地域の関わりを考え、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

教材

○第1学年

教科書：新しい技術・家庭 家庭分野（東京書籍）

副教材：家庭科ワークノート 衣食住の生活 衣生活・住生活（地域教材社）

○第2学年

教科書：新しい技術・家庭 家庭分野（東京書籍）

副教材：家庭科ワークノート 衣食住の生活 食生活（地域教材社）

○第3学年

教科書：新しい技術・家庭 家庭分野（東京書籍）

副教材：なし

年間シラバス

○第1学年

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と評価方法
1 学期	○自分の成長と家族・家庭生活 ①自立と共生を目指そう ②中学生と家族の1日の家庭生活 ③私たちがなう家族・家庭の機能	・自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解する。	【評価の観点】 家庭科に取り組む姿勢 家庭生活での行動 裁縫の基本的な技能 よりよい生活にするための工夫
	○衣服の選択と手入れ ① 衣服の役割 ②私らしさと T.P.O ～着方の工夫～ ② 日本の衣服の文化	・衣服と社会生活の関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択について理解する。	【評価方法】 定期テスト 平常時の授業に取り組む姿勢 ふりかえりシートの内容 提出物の取り組み状況 布を用いた作品の技能
	○生活を豊かにするために ①作って楽しい布作品	・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫すること。	

2 学 期	<p>○生活を豊かにするために</p> <p>①作って楽しい布作品</p> <p>○衣服の選択と手入れ</p> <p>④衣服の手入れ 衣服の補修・洗濯と保管</p> <p>⑤衣服計画と必要な衣服の選択</p> <p>○持続可能な衣生活を目標として</p>	<p>・製作する物に適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。</p> <p>・衣服の計画的な活用の必要性、必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできる。</p> <p>・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫する。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>1学期と同様</p> <p>【評価方法】</p> <p>1学期と同様</p>
	<p>○住まいの役割と安全な住い方</p> <p>①住まいの役割</p> <p>②住まいの気候風土の関わり</p>	<p>・家族の生活と住空間の関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解する。</p> <p>・家庭内の自己の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解する。</p> <p>・家族の安全性を考えた住空間の整え方について考え、工夫する。</p>	
3 学 期	<p>○住まいの役割と安全な住い方</p> <p>③健康で快適な室内環境</p> <p>④家族の住まいを安心・安全に</p> <p>⑤災害への対策</p> <p>⑥持続可能な住生活を目標として</p>	<p>・家族の生活と住空間の関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解する。</p> <p>・家庭内の自己の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解する。</p> <p>・家族の安全性を考えた住空間の整え方について考え、工夫する。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>1学期と同様</p> <p>【評価方法】</p> <p>1学期と同様</p>

○第2学年

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と評価方法
1 学期	<p>○私たちの消費生活と環境</p> <p>①消費者としての自覚</p> <p>②購入方法と支払方法</p> <p>③バランス良く計画的な金銭管理</p> <p>④消費者トラブルとその対策</p> <p>○責任のある消費者になるために</p> <p>①何を考えて決めますか ～意思決定のプロセス～</p> <p>②消費者としてできること ～権利と責任～</p> <p>○持続可能な消費生活</p> <p>①省エネルギーと持続可能な社会</p> <p>②持続可能な消費生活を指して</p> <p>○食事の役割と中学生の栄養の特徴</p> <p>①食事の役割</p> <p>②わたしたちの食生活</p> <p>③栄養素の働き</p> <p>④中学生に必要な栄養素</p>	<p>・購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解する。</p> <p>・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。</p> <p>・物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫する。</p> <p>・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解する。</p> <p>・身近な消費生活について、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫する。</p> <p>・生活の中で食事が果たす役割について理解する。</p> <p>・中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解する。</p> <p>・健康に良い食習慣について考え、工夫する。</p>	<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭科に取り組む姿勢 ・家庭生活での行動 <p>【評価方法】</p> <p>定期テスト</p> <p>平常時の授業に取り組む姿勢</p> <p>ふりかえりシートの内容</p> <p>提出物の取り組み状況</p>
2 学期	<p>中学生に必要な栄養を満たす食事</p> <p>② 食品に含まれる栄養素</p> <p>②6つの食品群と食品群別摂取量の目安</p> <p>③バランスの良い献立作り</p> <p>○調理のための食品の選択と購入</p> <p>④食品の保存と食中毒の防止</p> <p>●いつも確かめよう</p> <p>調理の基礎技能</p> <p>○日常食の調理と地域の食文化</p> <p>①日常食の調理の学習</p> <p>(野菜、肉、魚の調理)</p> <p>(1) 学習</p> <p>(2) 実習</p>	<p>・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解する。</p> <p>・中学生の1日に必要な食品の種類と概要が分かり、1日分の献立作成の方法について理解する。</p> <p>・中学生の1日分の献立について考え、工夫する。</p> <p>・材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできる。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>1学期と同様</p> <p>【評価方法】</p> <p>定期テスト</p> <p>平常時の授業に取り組む姿勢</p> <p>ふりかえりシートの内容</p> <p>提出物の取り組み状況</p> <p>調理実習</p> <p>バランスの良い献立作り</p>

3 学 期	①食品の選択と購入 ②生鮮食品の特徴 ③加工食品の特徴 ⑤日本の食文化と和食の調理 ○持続可能な食生活 ①持続可能な食生活を指して	<ul style="list-style-type: none"> ・日常と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできる。 ・食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできる。 ・地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 ・日常の1食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫する。 ・消費生活と食生活を関連付けて、食材を無駄にしない調理方法ができる。 	【評価の観点】 1学期と同様 【評価の方法】 2学期と同様
-------------	--	---	--

○第3学年

学 期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と評価方法
1 学 期	○幼児の生活と家族 ①幼い頃のふりかえり ②幼児の体の発達 ③幼児の心の発達 ④幼児の生活習慣の習得 ⑤支えられて身につける生活習慣 ⑥幼児の生活と遊び ○幼児の生活と家族 ⑥幼児の生活と遊び ・幼児のおもちゃ作り	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達と生活の特徴が分かり、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解する。 ・幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解する。 	【評価の観点】 家庭科に取り組む姿勢 【評価方法】 定期テスト 平常時の授業に取り組む姿勢 ふりかえりシートの内容 提出物の取り組み状況

2 学 期	<p>○幼児の生活と家族</p> <p>⑦幼児との関わり方の工夫 ・幼児との触れ合い体験</p> <p>⑧幼児との関わりを生活に生かす</p> <p>⑨子どもにとっての家族</p> <p>○これからの家族と地域</p> <p>①家族との関わり</p> <p>②家族や地域の高齢者との関わり</p> <p>③地域での協働を目指して</p>	<p>・幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫する。</p> <p>・家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解する。</p> <p>・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解する。</p> <p>・家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について考え、工夫する。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>1 学期と同様</p> <p>【評価の方法】</p> <p>定期テスト</p> <p>平常時の授業に取り組む姿勢</p> <p>ふりかえりシートの内容</p> <p>提出物の取り組み状況</p> <p>夏休みの課題「おもちゃ作り」</p>
3 学 期	<p>○学習を終えて</p>	<p>・3年間の学習をふりかえり、これからの生活で生かしていきたいことを考える。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>1 学期と同様</p> <p>【評価の方法】</p> <p>1 学期と同様</p>